



様式第10号（第14条関係）

令和7年6月30日

令和6年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事

住 所 鳥取県倉吉市小田 79-15
団体名 特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ
代表者職・氏名 理事長 河本 純子

令和6年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 寄附金受入額 令和6年度合計 72,000円
- 2 添付書類
 - (1) 寄附金活用実績報告書＜様式第10号の2＞
 - (2) 寄附金活用収支決算書＜様式第10号の3＞

様式第10号の2（第14条関係）

寄附金活用実績報告書

事業名	不登校やひきこもり・発達障がい理解のある地域のサポーターを増やしたい！
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日 場所：鳥取県全域（主に中部で開催） 対象者：地域の人、企業、行政、学校など。 実施方法：学校（先生や保護者）や行政、企業、地区公民館等に出向く。 事業の内容：不登校やひきこもり、発達障がいのある人達への思い込みによる誤解や偏見を解消し、誰もが安心して暮らせる地域となるように理解啓発活動を行う。
事業実施の成果・効果（見込み）	地域の公民館や学校、企業へ出向き、理解啓発の為に講座を開く事で、「共に学び、共に生き、共に暮らす地域の仲間」として、温かく見守ってくれるサポーターを増やしていく。 そして、スタッフも積極的に研修を受けて新しい情報を吸収し、誰もが同じ対応が出来る様にする。 その為にも、理解啓発の為に使う資料やリーフレットを専門家の助言を得ながら作成する事で正しい情報を伝えていく。 <講演会活動実績> 11/28（木）大山町「あさひの会」公開講座 〃 大山町要保護児童対策地域協議会実務者研修会 2/16（日）重層的支援体制整備事業参加型支援モデル事業 「居い場所田園」「こころの居場所作り」 2/23（日）鳥取県福祉研究学会 シンポジウム 3/8（日）生活支援研修会中部地区 対人援助研修事業・応用研修

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第10号の3（第14条関係）

令和6年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	72,000	
繰越金	114,036	
収入 計	186,036	

【支 出】

区 分	金額（円）	内 訳
消耗品費	23,464 円	紙、インク代
繰越金	162,572 円	次年度繰越金
支出 計	186,036	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。